

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

研究課題名	難治てんかん原性脳病巣の形成機序に関する病態病理学的解析
対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2015年以降新潟大学脳研究所病理学分野でてんかん病変の病理診断を受けた患者さん。
概要	てんかんは薬で難治性に経過することもあり、その場合、手術で良くなることも多くあります。したがって、こういった切除組織内にはてんかんの原因が含まれていると考えられますが、それを明確に調べる方法はこれまでありませんでした。そこで、私たちは切除組織標本から神経活動の記録を取り、てんかんの原因を明らかにしようとしています。これにより、新たなてんかん治療法の確立に寄与できると考えられます。
申請番号	2015-2006
研究の目的・意義	てんかん外科切除標本の病理学的解析と生理学的解析を統合させ、てんかん焦点組織も持つ過剰興奮性のメカニズムを明らかにすることです。
研究期間	2019年9月23日-2024年9月22日
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	共同研究を行っている西新潟中央病院との間で研究成果の情報共有を行うことがあります。その場合も個人が特定できる情報の提供は行いません。
利用または提供する情報の項目	年齢・性別・疾患名・罹病機関
利用の範囲	西新潟中央病院脳神経外科
¹⁰ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所病理学分野 教授 柿田明美
¹¹ お問い合わせ先	025-227-0673